

札幌市清掃施設除雪業務仕様書

令和3年度版

札幌市環境局環境事業部

清掃施設除雪業務仕様書

第1節 総 則

1. 適用

- ① 環境事業部清掃施設除雪業務仕様書（以下除雪業務仕様書）は、札幌市環境局環境事業部が委託する各種除雪業務委託等に係わる契約書及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その必要な事項を定め、契約の適正な履行を確保するものである。
- ② 契約図書は相互に補充し合うものとし、契約書及び設計図書のいずれかによって定められている事項は、契約の履行を拘束するものとする。
- ③ 業務の内容と除雪業務仕様書の間には相違がある場合は、受託者は、業務員に確認し、指示を受けなければならない。
- ④ 受託者は、信義に従って誠実に業務を履行し、業務員の指示がないかぎり業務を継続しなければならない。ただし、契約書に定めのあるものについては、この限りでない。

2. 用語の定義

- ① 業務員とは、業務主任及びそれに準ずる者である本市職員を言い、委託事項に関する連絡及びその調整に従事する。
- ② 指示とは、業務員が受託者に対し、業務等の実施方法などを示し、実施させることをいう。
- ③ 承諾とは、受託者が事前に業務員に報告し、業務員が了解することをいう。
- ④ 完了とは、業務等の全てを終えることをいう。
- ⑤ 終了とは、業務等を委託期間内において、部分的に終えることをいう。
- ⑥ 検査とは、終了及び完了の検査をいう。
- ⑦ 確認とは、業務等の委託期間内において、一定期間内の業務の履行の確認をいう。
- ⑧ 協議とは、委託者と受託者が対等の立場で合議することをいう。
- ⑨ 設計図書とは、業務説明書、除雪業務仕様書、特記仕様書、図面等をいう。
- ⑩ 特記仕様書とは、除雪業務仕様書を補足し、業務の実施に関する明細または、特別な事項を定める図書をいう。

3. 業務の再委託

- ① 受託者は、業務を第三者に委託してはならない。ただし、あらかじめ委託者の書面による承諾を得た場合はこの限りではない。

② 受託者は、業務を再委託に付する場合は、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。

ア. 受託者が業務の実施につき総合的に企画し、指導及び調整すること。

イ. 再受託者が札幌市の除雪業務競争入札資格者である場合には指名停止期間中ではないこと。

ウ. 再受託者は、当該業務の実施能力を有すること。

③ 受託者は、委託金等を支払う場合は、できるだけ現金払いとし、手形払いをするときは当該手形期間を短くするなど、再受託者などの利益を保護するよう努めなければならない。

4. 業務の契約解除等

受託者が、札幌市契約規則 3 4 条第 1 項各号に該当するときは、契約を解除することができる。

5. 業務員による確認及び立会等

① 業務員は、業務契約書どおりにおこなわれているかどうか確認をするために必要に応じ、業務実施個所等に立入り、立会し、または資料の請求ができるものとし、受託者はこれに協力しなければならない。

② 業務員による確認は、受託者が臨場するものとし、調査等に十分な機会を提供するものとする。

6. 業務完了・終了検査

① 受託者は、契約書の規定に基づき、業務完了・終了届を別に定める様式により業務員に提出しなければならない。

② 業務完了・終了届を業務員に提出する際には、業務記録写真及び各種資料が整備され、業務員に提出されている場合とする。

③ 業務完了・終了検査は次のとおり実施する。

ア. 業務員は、業務完了・終了検査に先立って、受託者に対して検査日を通知するものとする。

イ. 検査員は、業務員及び受託者の臨場のうえ、書類及び写真、必要に応じ現地検査を行うものとする。

ウ. 検査員が業務の再実施が必要と認められた場合は、これに従わなければならない。

エ. 当該検査に必要な準備、人員及び機械等の提供並びに写真その他資料準備のために必要な費用は、受託者の負担とする。

7. 業務管理

- ① 受託者は、契約図書に適合し、また清掃業務等に支障をきたさぬよう業務を実施し、その管理を行わなければならない。
- ② 受託者は、この除雪業務仕様書の「管理基準」により、業務管理を行い、その記録及び関係書類等を受託者の責任と費用により直ちに作成、保管し、業務員の請求があった場合は、直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

8. 使用人等の管理

- ① 受託者は、使用人等（再受託者、またはその代理人、もしくはその使用人、その他これに準ずる者を含む。以下「使用人等」という。）の雇用条件、賃金の支払い状況等を十分に把握し、適正な労働条件を確保しなければならない。
- ② 受託者は、使用人等に適時、安全対策、環境対策、衛生管理（感染防止対策・健康管理等）、地域住民に対する対応などの指導及び教育を行うとともに、業務が適正に遂行されるよう管理及び監督しなければならない。

9. 事故報告

受託者は、業務実施中等に事故が発生した場合は、直ちに業務員に通知するとともに報告書を速かに業務員に提出しなければならない。

10. 安全管理

受託者は、事故の防止について細心の注意を払い、事故防止に努めること。また、運転者に対して安全運転講習の実施等、安全運転意識の向上について十分留意するとともに、再委託者の雇用する運転者に対しても、その浸透を図らなければならない。

11. 諸法令の遵守

- ① 受託者は、当該業務に関する諸法令及び諸法規を遵守し、業務の円滑な進捗を図らなければならない。
- ② 諸法令及び諸法規の適用及び運用は、受託者の責任と費用負担において行わなければならない。

なお、主な法令は、以下に示すとおりである。

(ア) 建設業法 (イ) 下請代金支払遅延等防止法 (ウ) 労働基準法 (エ) 労働安全衛生法 (オ) 最低賃金法 (カ) 中小企業退職金共済法 (キ) 雇用保険法 (ク) 労働者災害補償保険法 (ケ) 道路運送車両法 (コ) 環境基本法 (サ) 電波法 (シ) 道路交通法 (ス) 貨物自動車運送事業法 (セ) その他関連法令

- ③ 受託者は、諸法令に違反した場合発生することが予想される責務が、委託者に及ばないようしなければならない。
- ④ 受託者は、電波法令を遵守し、不法無線局（電波法に規定する免許または登録をせずに開設する無線局 例：不法アマチュア局、外国製無線機(FRS/GMRS)など）及び違法無線局（免許または登録を受けていながら、その範囲を逸脱して使用すること 例：アマチュア局を使用した業務連絡など）を使用して作業を行ってはならない。また、排雪車両等については、除排雪作業を開始する前に確認し、不法無線局を搭載した車両及び、業務中に違法無線局を使用した車両については無線機を取り外すこと。なお、取り外しに応じない場合は、その車両を排除すること。

12. その他

業務に当り施設担当者と夜間警備及び施錠の取り扱いについて、また作業範囲内の支障物権の確認等を行うこと。

第2節 清掃事務所等の除雪

1. 新雪除雪工（構内及び搬路）

① 作業目的

新雪除雪は通常の場合、降雪、積雪後、最初に行われる作業であり、積雪状態になった雪は、通行車両等や雪の自重による圧密及び気温の変化等により圧雪状態や不陸状態となり、車両等の通行に支障をきたすことが予想されるため、その前に構内の雪はたい積場所に一時たい積し、搬路の雪は路肩側へ押しつけることを目的として行われる。

② 出動基準

積雪はその時の雪質、気温等にもよるが、一般的に積雪深が5～6cmになると車両の走行速度が低下し、20cmを超えると走行が困難になるため、次のような場合は出動するものとする。

ア. ほぼ連続した降雪で、積雪深さが10cmを超え除雪作業が必要なとき。

イ. ほぼ連続した降雪で、積雪深さが10cmに満たなくても、朝方までに除雪作業が必要と予想されるとき。

③ 作業基準

作業は施工管理基準に基づき、除雪範囲・圧雪厚を遵守し作業を行うこと。

④ 作業方法

タイヤショベル（1.4 m³～2.0 m³級）に可変プラウを取付け、除雪を行うものである。

⑤ 作業実施の留意事項

- ア. 降雪や強風により視界不良等で、作業を停止または中止した場合は気象状況や構内の状況等を勘案し、作業の安全が確保できる範囲内において継続、再開すること。
- イ. 車庫前等の雪は出来る範囲で処理すること。
- ウ. 清掃業務に支障が生じることのないよう（午前7時頃）作業を終了するものとする。

⑥ 作業の単位

作業単位は、1回当たりとする。

日を跨いで作業することがある場合は、翌日作業として回数を数えること。

（例：1日23時～2日3時までの作業の場合は、2日の日に1回としてカウントする。）

ただし、廃棄物空気輸送センターについては除雪面積が極端に少ないことから、新雪除雪の作業時間が30分を超える場合は、要請対応除雪の時間として扱う。

また、災害等により出動した場合は別途協議するものとする。

⑦ 作業の実施報告

作業を実施したときは、速やかに当該施設に作業日誌を提出し作業の完了確認を受けること。また確認後、作業日誌にチャート紙を添付し業務員に提出する。

なお、チャート紙の提出がない場合は、支払いの対象とならないので注意すること。

2. 拡幅除雪工

① 作業目的

新雪除雪により路肩部の雪堤が徐々に大きくなり走行幅員を狭め、交通障害やその後の新雪除雪の障害となるため、路肩部の雪堤を拡幅し搬路の走行幅員の確保を目的とする。

② 出動基準

搬路の走行幅員が確保できない場合に業務員の指示によるものとする。

③ 作業方法

ロータリー除雪車（160kw級）にて、路肩部の雪堤を片側平均70cm以上積上げ拡幅する。

④ 作業実施の留意事項

ア. 歩行者及び通行車両等に注意をするとともに、搬路の施設（スノーポール、防護柵、標識、電柱等）を破損することのないよう注意すること。

イ. 助手等配置し、作業車の安全確認及び誘導等に従事させなければならない。

⑤ 作業の単位

作業単位は、1回又は1時間当たりとする。

ただし、災害等により出動した場合は別途協議するものとする。

⑥ 作業の実施報告

作業を実施したときは、速やかに当該施設に作業日誌を提出し作業の完了確認を受けること。また確認後作業日誌にチャート紙を添付し業務員に提出する。

なお、チャート紙の提出がない場合は、支払いの対象とならないので注意すること。

3. 要請対応除雪工

① 作業目的

構内及び搬路等の不陸、ワダチ掘り及び暖気や降雨によるザクザク路面などの解消。

② 出動基準

清掃業務等に支障を及ぼす恐れが予測される場合に業務員の指示による。

③ 作業方法

タイヤショベル（1.4 m³～2.0 m³級・可変プラウ装着又はスノーバケット装着）、バックホウ（0.45 m³級ホイール式）及びロータリー（160kw級）により作業を行う。

④ 作業実施の留意事項

作業内容について業務員及び施設担当者との十分な打合せを行い、清掃業務に支障をきたさぬよう実施すること。

⑤ 作業の単位

要請対応除雪工の作業単位は10分単位としチャート紙により算出する。

（1分単位の端数については、四捨五入すること。）

なお、作業時間数は月毎集計表に記載し、11月から1月、2月から3月の合計時間で端数が30分以上の場合、再計欄で1時間単位に切り上げること。（10分、20分は切り捨て）

⑥ 作業の実施報告

作業を実施したときは、速やかに当該施設に作業日誌を提出し作業の完了確認を受けること。また確認後作業日誌にチャート紙を添付し業務員に提出する。

なお、チャート紙の提出がない場合は、支払いの対象とならないので注意すること。

4. 排雪積込運搬工

① 作業目的

各清掃事務所等の施設において、構内に一時たい積した雪が清掃業務に支障を及ぼす恐れがある場合に、雪たい積場へ運搬し、次回以降の除雪作業に備えてたい積スペースを確保することを目的とする。

なお、運搬先の雪たい積場については、開設状況を踏まえ、監督員との協議により決定すること。

② 対象施設

中央清掃事務所・東清掃事務所・豊平・南清掃事務所・廃棄物空気輸送センター

③ 作業基準

たい積された雪により清掃業務に支障を及ぼす恐れがある場合に業務員の指示による。

④ 作業方法

バックホウ（0.45 m³級）により積込を行い、10t ダンプトラック（差枠・右側0.8m、左側0.6m、積載量14.0 m³）により雪たい積場へ運搬を行う。

⑤ 作業実施の留意事項

ア. 運搬ルートについては、交通障害、振動、騒音等を十分考慮して広幅員の路線を選定すること

イ. 運搬ダンプトラックは周辺への騒音対策として無騒音装置を装着したダンプトラックを使用すること。

⑥ 作業の単位

1 m³当たりとする。

⑦ 作業の実施報告

作業を実施したときは、速やかに当該施設に除雪作業日誌（ダンプトラックの車両登録番号、運搬回数及び運搬総量等を記入）を提出し、作業の完了確認を受けること。また確認後作業日誌にチャート紙を添付し業務員に提出する。

なお、チャート紙の提出がない場合は、支払いの対象とならないので注意すること。

5. 雪積上対応除雪工

① 作業目的

各清掃事務所等の施設において、構内に一時たい積した雪が清掃業務に支障を及ぼす恐れがある場合に、除雪作業でたい積された雪を敷地内雪たい積スペースに積上げし、たい積スペースを確保することを目的とする。

② 作業基準

たい積された雪により清掃業務に支障を及ぼす恐れがある場合に業務員の指示による。

③ 作業方法

ロータリー（160kw級）により積上作業を行う。

④ 作業実施の留意事項

作業内容について業務員及び施設担当者と十分な打合せを行い、清掃業務に支障をきたさぬよう実施すること。

⑤ 作業の単位

1時間当たりとする。

⑥ 作業の実施報告

作業を実施したときは、速やかに当該施設に作業日誌を提出し作業の完了確認を受けること。また確認後作業日誌にチャート紙を添付し業務員に提出する。

なお、チャート紙の提出がない場合は、支払いの対象とならないので注意すること。

6. スノーポール設置・撤去

① 作業目的

山本・山口処理場の搬入路等において、除雪区域を明示することを目的とする。

② 作業基準

除雪作業実施前に事前に設置すること。

③ 作業方法

人力作業により設置・撤去を行う。

④ 作業実施の留意事項

作業内容について業務員及び施設担当者と十分な打合せを行い、清掃業務に支障をきたさぬよう実施すること。

⑤ 作業の実施報告

作業を実施したときは、速やかに当該施設に作業日誌を提出し作業の完了確認を受けること。

第3節 管理基準

1. 新雪除雪（構内）

① 施工基準

圧雪厚 30cm 以内とする。

② 写真管理

除雪完了状況として、事務所・車庫・駐車場について各 1 箇所を月 1 回程度撮影する。なお、作業中の写真についても提出するものとする。

2. 新雪除雪（搬路）

① 施工基準

管理幅は搬入退出路の 90%以上とし、圧雪厚は 15cm 以内とする。

② 写真管理

除雪完了状況として、搬路 2 箇所程度を月 1 回程度撮影する。なお、作業中の写真についても提出するものとする。

3. 拡幅除雪工

① 施工基準

路肩の雪堤を片側平均 70cm 以上積上げ拡幅する。

② 写真管理

写真管理は、代表箇所 1 箇所を選定し、作業前・作業中・作業完了後の各 1 枚撮影する。
なお、撮影頻度は作業日毎とする。

4. 要請対応除雪工

① 施工基準

清掃業務等に支障を及ぼす恐れが予測される場合に業務員の指示による。

② 写真管理

写真管理は、代表箇所 1 箇所を選定し、作業前・作業中・作業完了後の各 1 枚撮影する。
なお、撮影頻度は作業日毎とする。

5. 排雪積込運搬工

① 施工基準

「札幌市除雪業務委託等仕様書」の「ダンプ排雪量の検収」に準じるが、差枠高さ・積込状況写真にて管理するものとする。

② 写真管理

作業前及び作業完了時の状況が判断できる写真、積込状況写真・ダンプトラック積込前後状況とする。なお、撮影頻度は作業時毎とする。

6. スノーポール設置・撤去工

① 施工基準

設置時期は除雪作業実施前とし、スノーポールの設置個所については、担当職員と協議し決定すること。

撤去時期については、積雪状況を勘案し、担当職員と協議し決定すること。

② 写真管理

写真管理は、各施設代表個所1箇所を選定し、作業前・作業中・作業完了後の各1枚撮影する。なお、撮影頻度は作業日毎とする。

第4節 提出書類及び手続き

1. 業務着手届

業務委託契約締結後、速やかに「業務着手届」を提出し、本市の承諾を受けなければならない。なお、添付書類は下記とする。

- ・業務着手届
- ・業務代理人及び主任技術者等指定通知書
- ・経歴書（健康保険被保険者証等の写しを添付）

2. 除雪業務調書

業務委託契約締結後、速やかに「除雪業務調書」を提出し、本市の承諾を受けなければならない。なお、添付書類は下記とする。

- ・除雪業務調書（業務名・業務個所・履行期間・除雪担当者・使用機械等を明記）
- ・業務代理人及び現場責任者等の緊急時連絡先
- ・除雪担当者の運転免許証及び車両系建設技能講習終了証の写し

- ・除雪使用機械の自動車検査証及び自動車損害賠償責任保険証明書の写し
- ・使用建設機械の全景写真
- ・その他必要と認められるもの

3. 業務完了及び業務終了時

① 業務終了時の提出書類

業務終了時に次の書類を提出すること。

- ・ 1 1月～1月分業務終了届（様式 1-1）
- ・ 1 1月～1月分業務内訳書（様式 2）
- ・ 請求内訳書（様式 3）
- ・ ○月分業務集計表（様式 4）
- ・ 除雪業務日誌（様式 5）
- ・ チャート紙（除雪業務日誌の裏面に添付）

} 一つにまとめ割印

② 業務完了時

業務完了時に次の書類を提出すること。

- ・ 業務完了届（様式 1-2）
- ・ 2月～3月分業務終了届（様式 1-3）
- ・ 2月～3月分業務内訳書（様式 2）
- ・ 請求内訳書（様式 3）
- ・ ○月分業務集計表（様式 4）
- ・ 除雪業務日誌（様式 5）
- ・ チャート紙（除雪業務日報の裏面に添付）

} 一つにまとめ割印

1 1 月～ 1 月分業務終了届

令和 年 月 日

札幌市長 秋元 克広 様

住所

氏名

業務名

上記役務は、令和 年 月 日に終了したのでお届けします。
(なお、終了した役務の内容は、除雪業務日誌等に逐次報告したとおりです。)

受付	令和 年 月 日	終了を確認した職員	技術職員
----	----------	-----------	------

課 長	係 長	係

令和 年 月 日上記のとおり終了届の提出があったので、この役務の履行
検査にかかる検査員及び立会人については次の者に命じ、令和 年 月 日
に検査を実施してよろしいか。

検査員 職・氏名

立会人 職・氏名

2月～ 3月分業務終了届

令和 年 月 日

札幌市長 秋元 克広 様

住所

氏名

業務名

上記役務は、令和 年 月 日に終了したのでお届けします。
(なお、終了した役務の内容は、除雪業務日誌等に逐次報告したとおりです。)

受付	令和 年 月 日	終了を確認した職員	技術職員
----	----------	-----------	------

業 務 完 了 届

令和 年 月 日

札幌市長 秋元 克広 様

住所

氏名

業務名

上記役務は、令和 年 月 日に完了したのでお届けします。
(なお、終了した役務の内容は、除雪業務日誌等に逐次報告したとおりです。)

受付	令和 年 月 日	完了を確認した職員	技術職員
----	----------	-----------	------

課 長	係 長	係

令和 年 月 日上記のとおり完了届の提出があったので、この役務の履行
検査にかかる検査員及び立会人については次の者に命じ、令和 年 月 日
に検査を実施してよろしいか。

検査員 職・氏名

立会人 職・氏名

月～ 月分業務内訳書

業務名 _____

住所

氏名

終了業務内訳

業務場所	業務内容	月	月	計
		回	回	回
		hr	hr	hr

終了額

円

業務名 除雪業務 請求内訳書

令和 年 月～令和 年 月終了分

一金 円 (税込み)

内 訳

名 称	形 質	数 量	単 価	金 額	備 考
			円	円	
			円	円	
			円	円	
			円	円	
			円	円	
			円	円	
			円	円	
			円	円	
計			円	円	
再 計				円	

除 雪 作 業 日 誌

月 日 ()	業務場所
---------	------

I 除雪業務作業状況

降雪量 _____ cm (現在)

	車両番号	乗務員		作業終了時間	作業時間	延べ回数
		運転手	助手			
	-					
	-					
	-					
	-					

※チャート紙は裏面に添付すること。 ※新雪除雪は代表車両のみ記入すること。

II 排雪積込運搬作業状況

1. 排雪積込状況

使用機種		作業終了時間	作業時間
使用機械	車両番号		
	-		

2. 排雪運搬工

使用機種		運搬回数
使用機械	車両番号	
	-	回
	-	回
	-	回
当日計		回

当日排雪量
A × 14.0 m ³
m ³

III その他業務

1. スノーポール設置・撤去

設置本数	撤去本数

延べ排雪量
m ³

		係

業務名 _____

受託業者名 _____

記入者 _____

※作業終了後、本日誌により作業確認を受けること。